

# 滋賀の 地場 産業

滋賀県には、9つの地場産業が産地を形成しています。  
それぞれの地場産業では、  
琵琶湖をはじめとする豊かな自然から生まれて育まれたモノづくりや、  
歴史の流れの中で始まり今日まで磨かれたモノづくりが息づいています。  
先人の知恵と時代を経て、人から人へ引き継がれ培われた高い技術。  
それらの集積が地場産業へと発展し、滋賀県の経済をこれまで支えてきました。  
人々の暮らしが成熟し、  
たくさんのモノがあふれる今日、  
暮らしに豊かさを求めるライフスタイルは多様化しています。  
それぞれの地場産業では、  
暮らしに寄り添い時代に沿った新しい提案や取組みが始められています。

## 彦根仏壇



「彦根仏壇」は江戸時代中期が起源とされています。  
それまで武具・武器の製作に携わってきた塗師、指物師、筋(かざり)金具師などが“平和産業”として仏壇製造に転換したのが始まりといわれています。



## 信楽焼



「信楽焼」は鎌倉時代中期が起源といわれ、生産地である信楽は「陶器の町」として全国的に知られています。信楽焼の命である「土」と「炎」、そして「人」の技を継承しながら進化を続けています。



## 湖東麻織物



湖東地域は室町時代より麻織物の産地として知られ、江戸時代以降は良質の麻織物の生産地として発展。現在は600年続く伝統技法を継承しつつ、時代の変化に応じた上質の麻織物を発信し続けています。



## 甲賀・日野製薬



滋賀県は薬草栽培に適した気候風土に恵まれ、県最高峰の伊吹山は古来より薬草の一大産地でした。製薬会社が次々と創業し、現在では伝統ある配置薬をはじめ医療用・一般用医薬品の製造を行っています。



## 彦根バルブ



彦根市を中心に、バルブを製造する27社前後のブランドメーカーとそれを支える70~80社の関連企業が集結。日本屈指の規模を誇るバルブ産地では、あらゆるニーズに応える生産体制が確立されています。



## 彦根 ファンデーション



戦前から足袋製造を多く担っていた彦根市。その高い縫製技術を生かし、戦後は女性の下着の生産地として発展してきました。その可能性をより広げるべく、新たな挑戦も行っています。



## 浜ちりめん



「浜ちりめん」は生糸を100%使用した絹織物で、300年近くの歴史を有しています。伝統に培われた高度な技によって製造される浜ちりめんは和装染呉服用生地の最高峰と称され、日本全国に出荷されています。



## 高島綿織物



「高島綿織物」は江戸時代が起源とされ、確かな技術の歴史と恵まれた風土に育まれ発展してきました。その「伝統」と「技」は衣料や産業用資材に生かされ、たゆまぬ技術革新により進化を続けています。



## 高島扇骨



扇骨とは扇の土台となる“骨”の部分指し、高島は全国シェアの9割以上を占める国産扇骨の産地です。美しさと機能性を兼ね備えた「高島扇骨」は、夏扇子や舞扇など多種多様な扇子に用いられています。

